

【産業間連携について】

ただ、そもそも県外に物を持って行って売するためには、もう一段、県内のいろんな業者さん同士で手をつなぎあって、もっといいものを作っていく努力をすることも必要となってきます。

高知県は園芸野菜がすごく強いのは、皆さんご存知のとおりでしょう。高知は一次産業が強い県です。特に園芸野菜は全国でもトップクラスです。

今、野菜の生産量全国1位はどこか知っていますか。答えは千葉県なんですよ。野菜の生産量全国1位は千葉県、第2位は茨城県です。第3位から5位の間には必ず埼玉県が入っています。

なぜなら、消費地である東京に近く、スーパーなどにすぐに持っていきることができるからです。かつては、東京のスーパーに行っても、高知県産の野菜がずらっと並んでいたけれど、今では千葉県産、茨城県産、長野県産の野菜がたくさん並んでいて、高知の物が少ししか売られなくなってきました。

だから、新しいことを考えないといけません。県外に物を売り込むときには、今までやってきたことを強くして伸ばしていくことも大事ですけど、新しいことを考えていくということも重要になってきます。だから、高知県の一次産業と他の二次産業、三次産業と組み合わせさせていって、例えば食品加工して、それを県外に売り込んでいくとか、そういう取り組みが、高知県のようなところには、特に必要となってきます。

高知県は、森林面積割合が全国1位で、平野の占める割合が最も小さい。そして、東京まで物を運んでいくにしても、物流コストがたくさんかかります。物が少ししかできなくて、それで運んでいくのにたくさんお金がかかるという中で、それでも一定儲かるようにするためには、売るものの値を高くしなければなりません。高くても売れるもの、買ってもらえるものを作らなければ売れないということです。

物流コストもかかるけど、それだけ高い値段で売れる、そういうものをできるだけ作り出し、産業間での連携を強めていきたいと思います、そういう取り組みをもっと進めていきたいと考えているところです。